

**製品名: サイクリン F ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09599**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	88kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CCNF
別名	CCNF; FBX1; FBXO1; Cyclin-F; F-box only protein 1
遺伝子 ID	899.0
SwissProt ID	P41002
免疫原	抗血清はヒトサイクリン F 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 737-786

**背景**

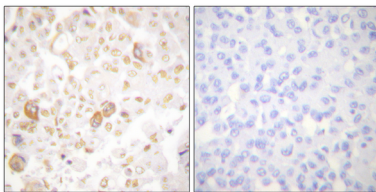
この遺伝子は、サイクリンファミリーのメンバーをコードしています。サイクリンは、サイクリン依存性タンパク質キナーゼに結合して活性化する能力を通じて、細胞周期遷移の重要な調節因子です。このメンバーはまた、約 40 個のアミノ酸モチーフである F ボックス

クスを特徴とする F ボックスタンパク質ファミリーにも属しています。F ボックスタンパク質は、リン酸化依存性ユビキチン化に機能する SCF (SKP1-cullin-F-box) と呼ばれるユビキチンタンパク質リガーゼ複合体の 4 つのサブユニットの 1 つを構成します。F ボックスタンパク質は、WD-40 ドメインを含む Fbws、ロイシンに富むリピートを含む Fbls、および異なるタンパク質間相互作用モジュールまたは認識可能なモチーフを含まない Fbxs の 3 つのクラスに分類されます。この遺伝子によってコードされるタンパク質は Fbxs クラスに属し、F ボックスモチーフが特定された最初のタンパク質の 1 つです。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],発生段階: G2/M サイクリンは G2 期に着実に蓄積し、有糸分裂で突然破壊される。機能: S 期および G2 期における細胞周期の制御に関与すると考えられる。類似性: サイクリンファミリーに属する。類似性: サイクリンファミリーに属する。サイクリン AB サブファミリー。類似性: 1 つの F ボックスドメインを含む。、

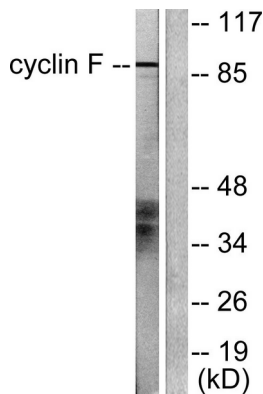
## 研究分野

-

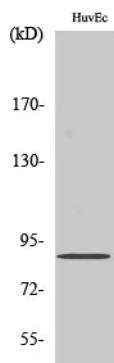
## 画像データ



サイクリン F 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



HeLa 細胞ライセートのサイクリン F 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 500 に希釈したサイクリン F ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。